

# マスク着用に警告: 酸素欠乏による永久的な神経障害 (元記事への[リンク](#))



マーガレット・グリーズブリッソン博士(MD、PhD): 薬理学博士、コンサルタント神経科医、神経生理学者。神経毒性学、環境医学、神経再生と神経可塑性に特別な関心を持っている([ウェブサイト](#))。

私たちは、人間の脳が酸素不足に非常に敏感であることを知っています。例えば海馬には、酸素がないと3分以上も生きられない神経細胞があります。急性の警告症状としては、頭痛、眠気、めまい、集中力の低下、反応時間の低下、認知システムの反応などがあります。しかし、慢性的な酸素欠乏になると、それらの症状はすべて消えてしまいます。あなたの効率は損なわれたままで、脳内の酸素不足は進行し続けます。神経変性疾患は、発症するまでに数年から数十年かかることがわかっています。今日、あなたが電話番号を忘れたとしても、脳の故障は20年前、30年前にすでに始まっているはずです。マスクをつけて自分の吐く空気を再呼吸すれば、間違いなく酸素不足と二酸化炭素の洪水が発生します。そうすることに慣れてきたと**思っている間に、酸素不足が続くと脳内の変性プロセスが増幅されていくのです。**

第二の問題は、脳内の神経細胞が正常に分裂できないことです。ですから、仮に政府がマスクを外して、数ヶ月後に自由に酸素を吸えるようになったとしても、失われた神経細胞はもう再生されません。消えたものは消えてしまうのです。私はマスクはしません、私は考えるために自分の脳を必要としています。患者さんを相手にするときには、炭酸ガスによる麻酔ではなく、頭をスッキリさせたいのです。酸素欠乏はすべての脳にとって危険なので、根拠のない医学的適用除外（免除）はありません。ウイルスから身を守るために絶対的に効果のないマスクをつけたいかどうかは、すべての人間の自由な判断でなければなりません。

子供や思春期の子供にとって、マスクは絶対に禁物です。子供や思春期の子供たちは、非常に活発で適応性の高い免疫システムを持っており、地球の微生物との絶え間ない相互作用を必要としています。彼らの脳もまた、学ぶべきことがたくさんあるため、信じられないほど活発に活動しています。子供の脳、つまり若者の脳は酸素を渴望しています。新陳代謝が活発な器官であればあるほど、より多くの酸素を必要とします。子供や青年では、すべての臓器が代謝的に活動的です。

子供や思春期の脳から酸素を奪ったり、何らかの方法で制限したりすることは、健康を害するだけでなく、絶対に犯罪です。酸素欠乏は脳の発達を阻害し、その結果として生じたダメージは元に戻すことができません。

子供が学習するためには脳が必要であり、脳が機能するためには酸素が必要です。そのための臨床研究は必要ありません。これは単純で議論の余地のない生理学です。意識的に意図的に酸素欠乏を誘発することは、絶対的に意図的な健康被害であり、絶対的な医学的禁忌です。

医学における絶対的医学的禁忌とは、この薬剤、この治療法、この方法または手段を使用すべきではなく、使用することが許されていないことを意味します。全人口に絶対的医学的禁忌の使用を強制するためには、そのための明確で重大な理由がなければならず、その理由は、権限のある学際的で独立した機関に提示され、検証され、認可されなければなりません。

10年後には認知症が指数関数的に増加し、若い世代が神が与えた潜在能力を発揮できなかった時、「マスクはいらなかった」と言っても仕方がないでしょう。

獣医師、ソフトウェア販売業者、ビジネスマン、電気自動車メーカー、物理学者が、国民全体の健康に関することをどうやって決めることができるのでしょうか？どうか、親愛なる仲間たちよ、私たちは皆、目を覚まさないといけないのです。

私は酸素欠乏が脳にどれほどのダメージを与えるかを知っていますし、循環器科医は心臓にどれほどのダメージを与えているかを知っていますし、呼吸器科医は肺にどれほどのダメージを与えているかを知っています。酸素欠乏はあらゆる臓器にダメージを与えます。

私たちの健康省、健康保険、医師会はどこにいますか？ロックダウンに猛烈に反対し、ロックダウンを止め、最初から止めることが彼らの義務だったでしょう。

なぜ医療委員会は人に適用除外を与える医師に罰則を出すのか？本人や医師は、酸素欠乏が人に害を及ぼすことを真剣に証明しなければならないのでしょうか？私たち医師や医師会は、どのような医療を代表しているのでしょうか？

この犯罪の責任は誰にあるのか？施行したい人？それを放置して、それに付き合っている者か、それともそれを防がない者か？

マスクのことでないし、ウイルスのことでないし、健康のことでない。それ以上のことをしている。私は参加していません。怖れてはいません。

お気づきのよう、彼らはすでに私たちの呼吸する空気を奪っている（酸素使用を自粛させている）のです。この時の緊急事態は、個人の責任です。私たちは、メディアにではなく、私たちが考えていることに責任があります。私たちは、上司にではなく、自分の行動に責任があります。私たちは、世界保健機関にではなく、自分の健康に責任があります。政府にではなく、国で起きていることに責任があります。」

コメント：空気中のウイルス感染に対するフェイスマスクの有効性については科学的根拠はありませんが、フェイスマスク着用の危険性については科学的根拠があります。